

別子校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成24年7月17日(火) 19:00~20:48
場所 別子山公民館
参加者数 男25人 女15人 合計40人



1. 校区設定市政課題

課題名 (別子校区における災害時の対応について)

討議内容 (要約)

災害による陸の孤島となった時の新居浜市の災害対策についての質問に対して、現状における別子山地区の備蓄品目の内容、及びヘリによる救助方法や道路復旧に向けた新居浜市の対応等を説明する。また、9月には自衛隊のヘリを使った訓練をする予定であり、別子山地区住民の方にも何人か参加していただくこととなっているとの回答。

これに関連して、地域の消防分団より災害時における分団詰所の装備強化と、瓜生野の防火水槽については亀裂等が走り老朽化していることから40トン級の防火水槽を設置していただきたいとの要望があるが、これについては、要望として聞いておくとの回答にとどめる。

また、災害による電力供給が断たれた場合、情報を得る手段はラジオしかないが、この地域では電波の受信状況が悪いため何らかの対応策がないかとの質問があるが、この問題については盲点であり、今後、検討していく必要があるとの回答とする。

※再検討事項

なし

2. 地域課題

課題名（ 筏津山荘の改築の構想について ）

質疑応答（要約）

別子観光センターが7月以降に取り壊されると聞いているがその構想についてお尋ねしたいとの質問であり、24年度中に旧施設を取壊し、新たな施設の建設費については新市計画に基づき新居浜市で負担するものであり、平成27年度迄の期限となる過疎債を充当し完成を目指すこととしているが、この具体的な計画は、今後、地域住民の要望を聞きながら計画を進めていく。完成後の施設は地域への無償貸与となり、物販販売や地元住民の雇用も含めた含めた別子山の皆さんの運営によるオール別子山のイメージを持っているとの回答。

また、園地管理の今後の方針についての質問に対しては、筏津山荘閉鎖後も担当課となる運輸観光課で対応することとし、新たな施設の運営が始まれば、その組織への委託という形でおまかせすることになるだろうとの回答をする。

※ 再検討事項

なし

課題名（ 陰地地区デジタル放送受信について ）

質疑応答（要約）

共聴組合に加入していない地域の問題点と共聴組合には加入しているものの引込線の距離が長いこと、老朽化した引込線を交換する際の個人負担が大変であることから市としてできることはないかとの質問に対して、テレビ放送については市街地であろうと新居浜市が経費をどうこうするものではなく、CATVにしても個人の選択で加入している状況であり、また、光ケーブルを利用することについても以前にお答えしたように無理であることから、現状において新居浜市で対応するのはできないとの回答にとどめる。

※ 再検討事項

なし

課題名（ 花ぐるまの始発時間の変更及び増便について ）

質疑応答（要約）

別子山地区には来年度に高校進学する生徒が3人いる。皆が新居浜の高校への進学を希望しているが、現在の花ぐるまの始発時間では、市内の全ての高校の始業時間に間に合わないため、始発時間を早めて欲しい。また、今の時間帯では高校が昼までの時や病院の診察が早く終わった場合に待ち時間が長いことから昼の便を増やしていただきたい。また、昼の便については、運営資金として地域振興基金も利用されていることから効率的な運営を望みたい。四国中央便についても25年度で最終となるが、病院へかかっている方たちのためにも、継続して運行していただきたい。

時間帯の変更については地域公共交通会議のなかで変更することができるので対応できるが、増便については、増便した際の利用があるかどうかも考えなければならず、今のところ考えていない。また、振興基金については昨年100万円程度（実際は1,259千円）をバス運行財源の一部としており、大事に使っていききたい。四国中央便については、四国中央市が運営するデマンドタクシーを利用した運行について担当課レベルで検討はしているが具体的な話までには至っていないとの回答。

※ 再検討事項

なし

3. その他

別子山では、環境省がキジの保護のため保護区としている区域が多いが、高知県などはそのような制限区域はほとんど無くなり、別子山地区でもキジを見かけることがほとんど無くなった現在、意味がないので解除できないものかという質問に対して、法の制度がはっきりわからないので、調査させていただきたいとの回答とする。